

県議会の概要



- 県議会について
- 議会と議員の役割について
- 議会のしくみ
- 議会の傍聴、広報活動

山口県議会

県議会について

- 私たちの住む山口県を、より明るく住みよい郷土とすることは、私たち県民の共通した願いです。その実現のためには、県の政治(県政)について、みんなで話し合っ て実行していかなければなりません。
- しかし、県民すべてが1か所に集まって県の政治のやり方を相談して決めることは実際にはできません。そこで、私たちの代表として選ばれた人が、県民の声を県政に反映するために集まり、意思決定をしています。



県議会とは

この代表者が県議会議員であり、議員の集まりが県議会です。



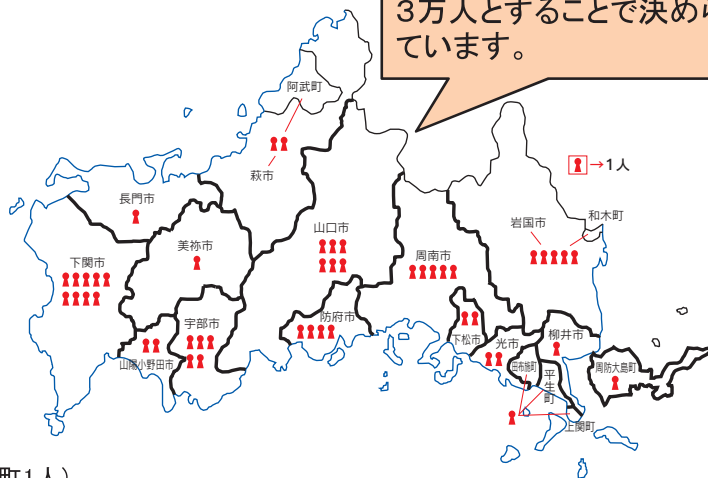
県議会議員の定数等

- 県議会議員は、地域の代表として選挙で選ばれ、任期は4年です。
- 現在の議員定数は47人で、県民約3万人に1人の割合で選ばれています。また、選挙区の数 は15です。

Point

現在の議員定数(47人)は、議員一人当たりの人口を約3万人とすることで決められています。

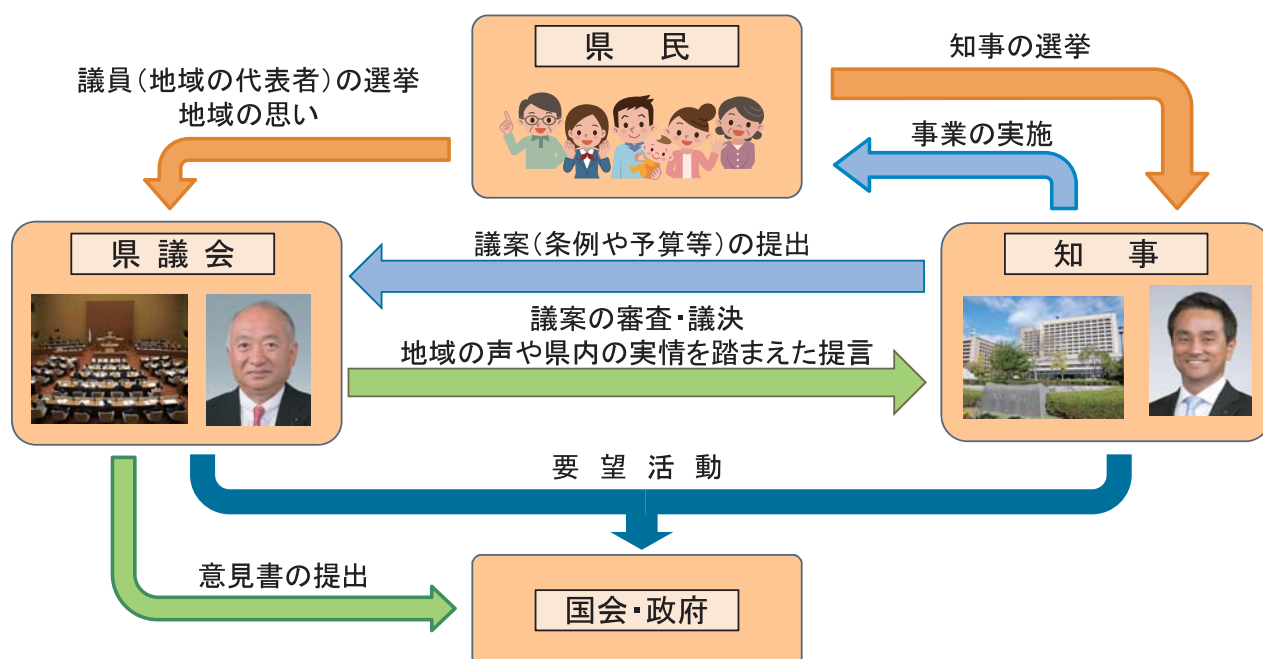
選挙区	定数	選挙区	定数
下関市	9人	長門市	1人
宇部市	5人	柳井市	1人
山口市	6人	美祢市	1人
萩市・阿武町	2人	周南市	5人
防府市	4人	山陽小野田市	2人
下松市	2人	周防大島町	1人
岩国市・和木町	5人	上関町・田布施町・平生町	1人
光市	2人	計(15選挙区)	47人



※現員45人(欠員:下松市1人、岩国市・和木町1人)

※平成27年の公職選挙法改正により、選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。

議会と議員の役割について



- 知事が条例や予算などを県議会に提案し、県議会では、それが県民のためにより良いものかどうか審査し、決定します。
- 県議会議員は、県民の代表として、県民の意見や要望などを県政に反映させるよう努めています。その意味で、議会において議員が行う質問に答えた知事などの発言は、県民へ向けたものとも言えます。

地域の代表としての役割

議員は、地域の手を県政・国政に届け、県と地域、県と市町をしっかりとつなぐ役割を果たすため、次のような活動を行っています。

- 県政に関する自分の考えを説明したり、議会活動の報告をするなど、積極的に地域の人と意見交換を行っています。
- 産業、福祉、道路、教育など、地域のさまざまな問題について、県に解決するよう求めたり、協力して解決に当たっています。
- 県の仕事に対する地域の手の疑問や要望など、さまざまな相談を受けています。
- 地域の行事に常日頃から積極的に参加して、地域の人との信頼関係を築いています。



県の監視役としての役割

- 県議会は、県民全体の代表機関であり、県政に関するさまざまな意思決定を行っています。
- 県がより良い地域づくりに取り組んでいくように、県が進める施策の監査役として、県議会は次のような仕事をしています。

議決	条例を定める、改める、廃止する。予算を決める。決算を認める。重要な契約を結ぶ。
同意	副知事や教育委員などの特別な役職に就く人の選任に同意する。
調査	県の仕事が議会で決めたとおり、正しく行われているかどうか調査する。
意見書の提出	県民のためになることについて、国などに意見書を提出する。
請願・陳情の受理	県民から出された請願を審査して、県政に反映する。陳情は、議案審査の参考資料とする。

議会のしくみ

定例会と臨時会、本会議、委員会

定例会と臨時会

- 定例会は、年4回（2月、6月、9月、12月）知事の招集により開催され、議案（条例や予算等）や県政の方針など、県民生活にとって重要な事項について審議します。
- 臨時会は、大規模な災害が発生した時など、特定の事案を審議するために招集されます。

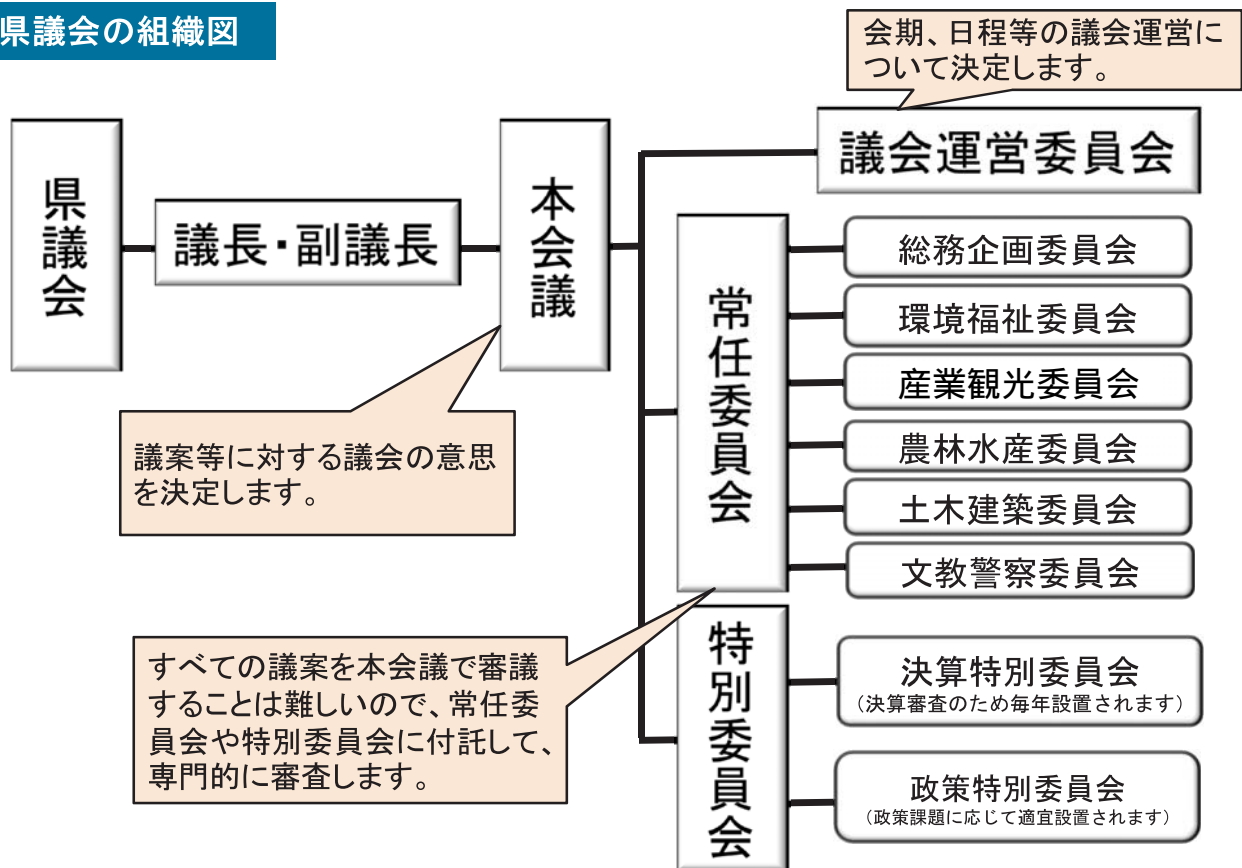
本会議

- 本会議は議員全員が参加して開かれ、議会に提出された議案などに対し、議会としての最終的な意思を決定します。

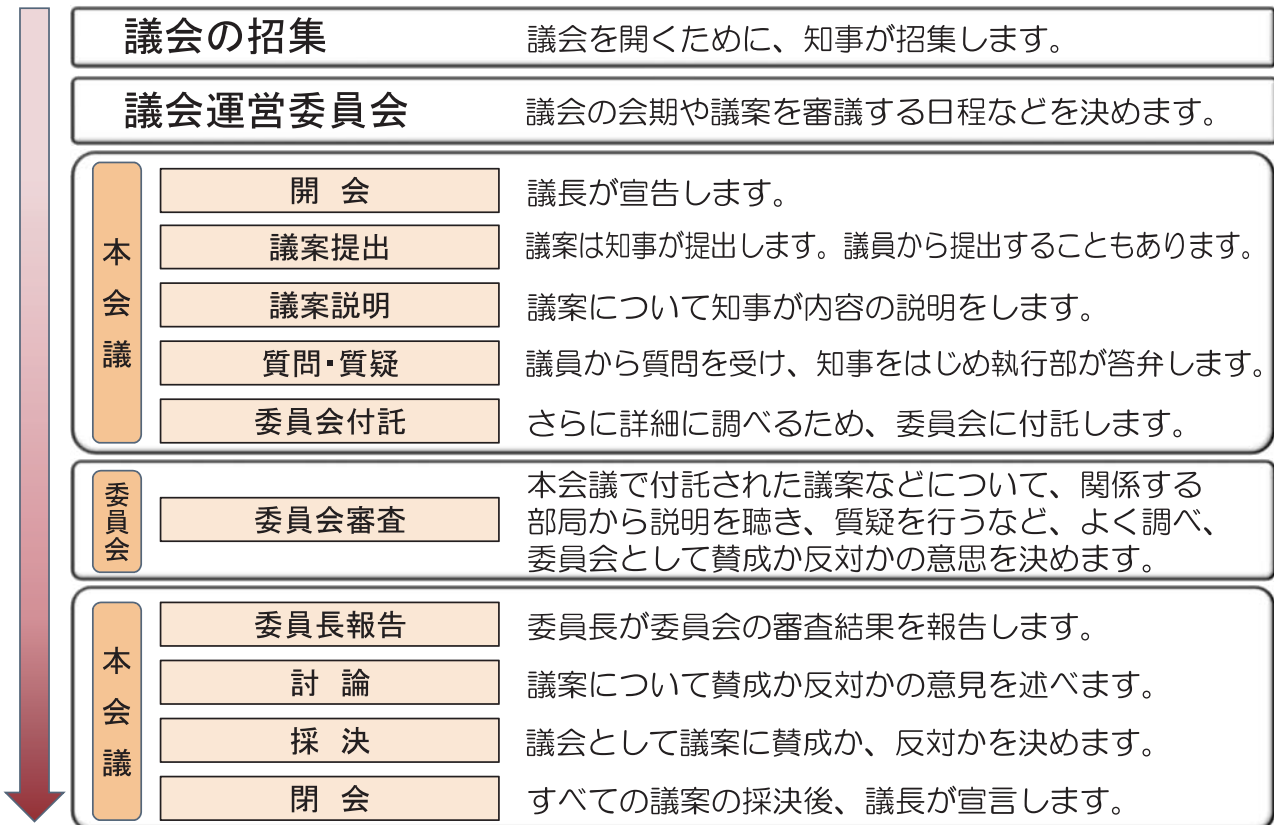
委員会

- 県の仕事は、産業振興、福祉、教育など多岐にわたっているので、議案などを専門的に詳しく、効率的に審査するため、委員会を設置しています。
- 委員会には、議会運営に関する事項などを決定する議会運営委員会、本会議で付託された議案等を専門的に審査する常任委員会、特定の課題について審査を行う特別委員会があります。

県議会の組織図



県議会の開会から閉会までの流れ



会期日程の具体例

【参考】平成28年6月定例会会期日程

会期：6月8日から24日（17日間）

月 日	曜	区分	日 程	備 考
6月 8日	水	本会議	開会10時 議案の上程・説明	
9	木	休 会	(議案調査のため)	
10	金			質問・質疑通告期限(17時)
11	土			
12	日			
13	月	本会議	開議10時 代表質問・質疑	
14	火		今期付議請願の提出期限(13時) 各会派からの意見書案提出期限(13時)	
15	水		開議10時 一般質問・質疑	
16	木			
17	金	休 会	(意見調整のため)	
18	土			
19	日			
20	月	委員会	常任委員会	
21	火			
22	水	休 会	(議事整理のため)	
23	木			
24	金	委員会	開会10時30分 議会運営委員会	
		本会議	開議13時 委員長報告・採決	

Point

質問する議員が十分な準備をし、事前に自分の考えや質問の趣旨を執行機関に伝えることで、より建設的で活発な政策論議が行えるよう、通告期限が設けられています。

特定の課題についての審査

県の政策課題に応じて特別委員会を設置し、継続的に調査研究を行い、知事に政策提言を行っています。

【特別委員会設置例】

■ 地方創生推進特別委員会

県議会では平成27年10月から平成29年3月まで、地方創生推進特別委員会を設置し、本県が進める地方創生の取組がより実効性のあるものとして推進されるよう、県内の実情や課題、推進方策等について調査研究を行いました。

特別委員会では、地方創生の取組に関して執行部から詳細な説明を受けるとともに、地域の実情をしっかりと把握するため、調査視察や参考人からの意見聴取を実施しました。

特別委員会の活動内容を取りまとめた報告書については、議会に報告するとともに、知事に対しても、今後、重点的な対応が必要と考えられる項目等について提言を行いました。



(委員会の審議状況)



(参考人による説明)

議会閉会中の活動

県内や県外の先進的な施設・現場などへ出向いて視察を行っており、調査の結果は議会での議論などに生かされています。

【視察報告例】

■ 県外調査視察・環境福祉委員会（平成28年8月31日～9月2日）

【性暴力救済センター・ふくい「ひなぎく」】

山口県の「性暴力被害者支援」を促進するため、福井県済生会病院を訪問し、院内に設置された「性暴力救済センター・ふくい『ひなぎく』」を訪問しました。性犯罪・性暴力被害者に対する、被害直後からの医療やカウンセリング対応のほか、関係機関団体と連携した支援活動等、医療拠点型の被害者支援の取組について説明を受けると共に、質疑等を行いました。



【福井県立病院 陽子線がん治療センター】

がんに対する先進の陽子線治療の取組について調査するため、福井県立病院を訪問し、陽子線発生装置や照射設備等の視察を行いました。また、施設設置の経緯や運用状況、治療方法などの説明を受けると共に、質疑等を行いました。



【Share(シェア)金沢】

高齢者の社会参画や生涯ケア、多世代交流を可能とする街づくりの取組を調査するため、社会福祉法人佛子園が運営する「Share 金沢」を訪問しました。高齢者用住宅や入所施設、飲食店等テナントなどが配置された街並みや、地域住民との交流・連携等について説明を受け、質疑等を行いました。



議会改革の取組

県議会では、常にその時代に沿った議会改革を進めるべく努力をしています。

■ 議会改革検討協議会

県議会では、検討協議会を設けて、議会活動の充実強化や、透明性の向上等に向けた取組方策について、各会派からの提案をもとに、幅広く検討を進めることとしています。

この検討協議会は、議長の諮問機関として、超党派の議員で構成されており、検討協議を行った結果を取りまとめ、議長に答申します。

最近では、平成27年7月に設置され、平成29年3月に議長に答申を行いました。

今後、答申を踏まえ、具体的な見直しの取組が進められます。



(会長から議長へ答申)



(検討協議会の様子)

新たな取組事例

県議会では平成28年1月から、高校生を対象とした「やまぐち高校生県議会」を開催しています。

県議会では選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられることになったことを受け、次代を担う高校生に県議会の役割や県行政への理解と関心を高めてもらうため、平成28年1月から「やまぐち高校生県議会」を開催しています。

「やまぐち高校生県議会」は、県内各地域から県議会議員の定数と同じ47名の高校生に参加していただき、実際の県議会の本会議と同じ議事運営により進行しています。

高校生議員からは、人口減少対策や若者の定住対策、観光振興、防災対策、農産物の販路拡大など幅広い分野で、若い世代ならではの視点による質問や提案が出され、村岡知事をはじめとする執行部が答弁を行いました。



議会の傍聴、広報活動

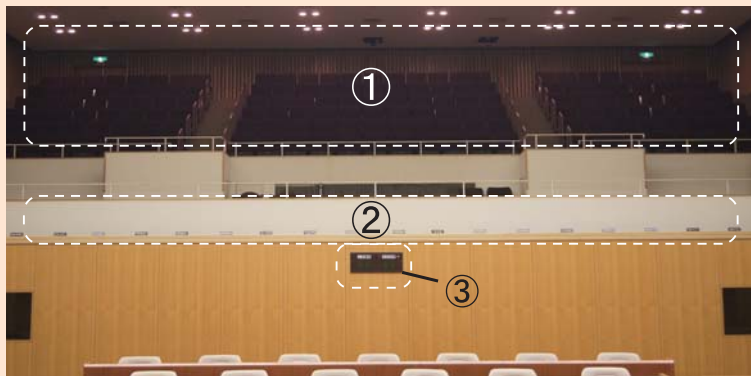
県議会の傍聴

県議会の本会議は公開されていますので、誰でも傍聴することができます。

傍聴を希望する方は、受付で傍聴券の交付を受け、傍聴規則を守って静かに傍聴していただくようお願いしています。

傍聴席の定員は162人です。

議長席から見た傍聴席、記者席



- ①傍聴席：議会の様子を直接見ることができます。
- ②記者席：会議の様子を取材するテレビや新聞の記者のための席です。
- ③出席議員数・残時間表示版：質問や答弁の残り時間を表示します。

また、常任委員会や特別委員会についても簡単な手続きで傍聴できます。

請願・陳情

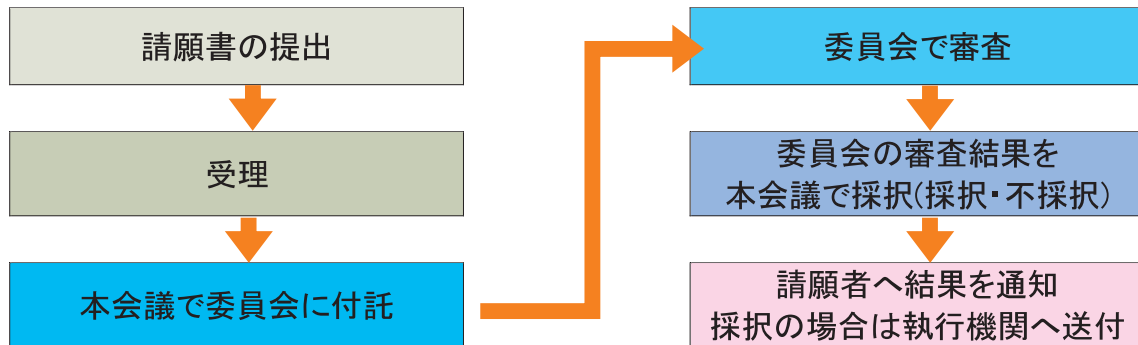
1 請願

請願は、県議会に県民のみなさんの意思を反映させようという、憲法で認められている大切な制度です。

県の仕事について意見や希望があるときは、どなたでも請願書を提出することができます。

県議会では、請願を審査し、その内容が適当と認めるときは採択し、行政に反映させるよう努力しています。

請願書を提出するには、県議会議員の紹介(1名以上)が必要です。



2 陳情

請願と同じようなものに陳情がありますが、これは議員の紹介はいりません。

陳情は委員会に付託せず、所管委員会において、審査の参考資料とします。

書式等は、請願書に準じます。

県議会の広報

○県議会ホームページ

- ・議会の開催日程
 - ・本会議や委員会の審議概要
 - ・議案や意見書
 - ・会議録
 - ・インターネット中継の視聴(本会議の生中継及び録画中継、政策特別委員会の生中継)
- など、議会に関する様々な情報を発信しています。



(本会議のインターネット中継画面)

山口県議会

検索

または <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/>

[a30000/index/index.html](http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a30000/index/index.html) まで

○テレビ放送

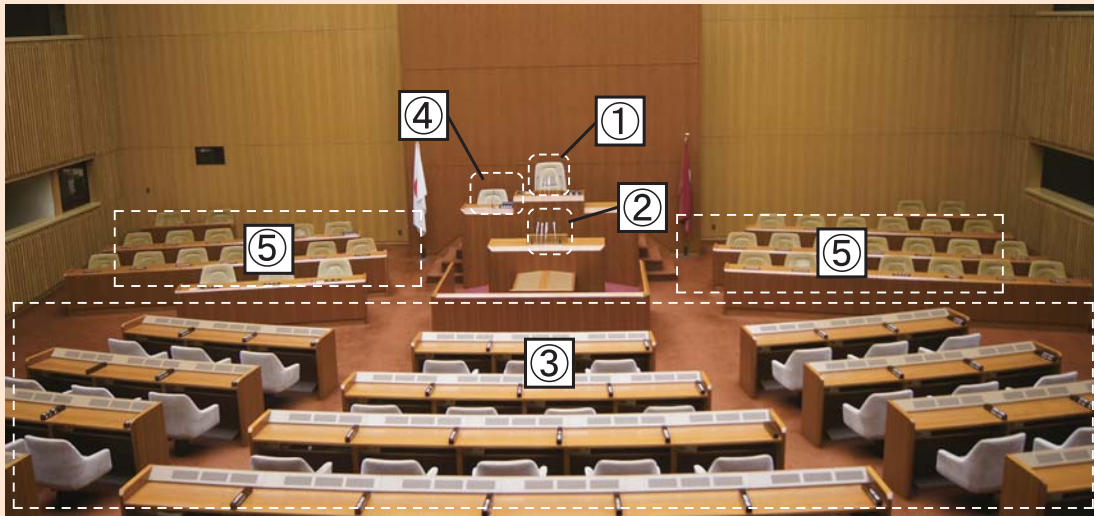
本会議の代表質問をテレビ放送(民放3社、録画放送)

○テレビ県政放送

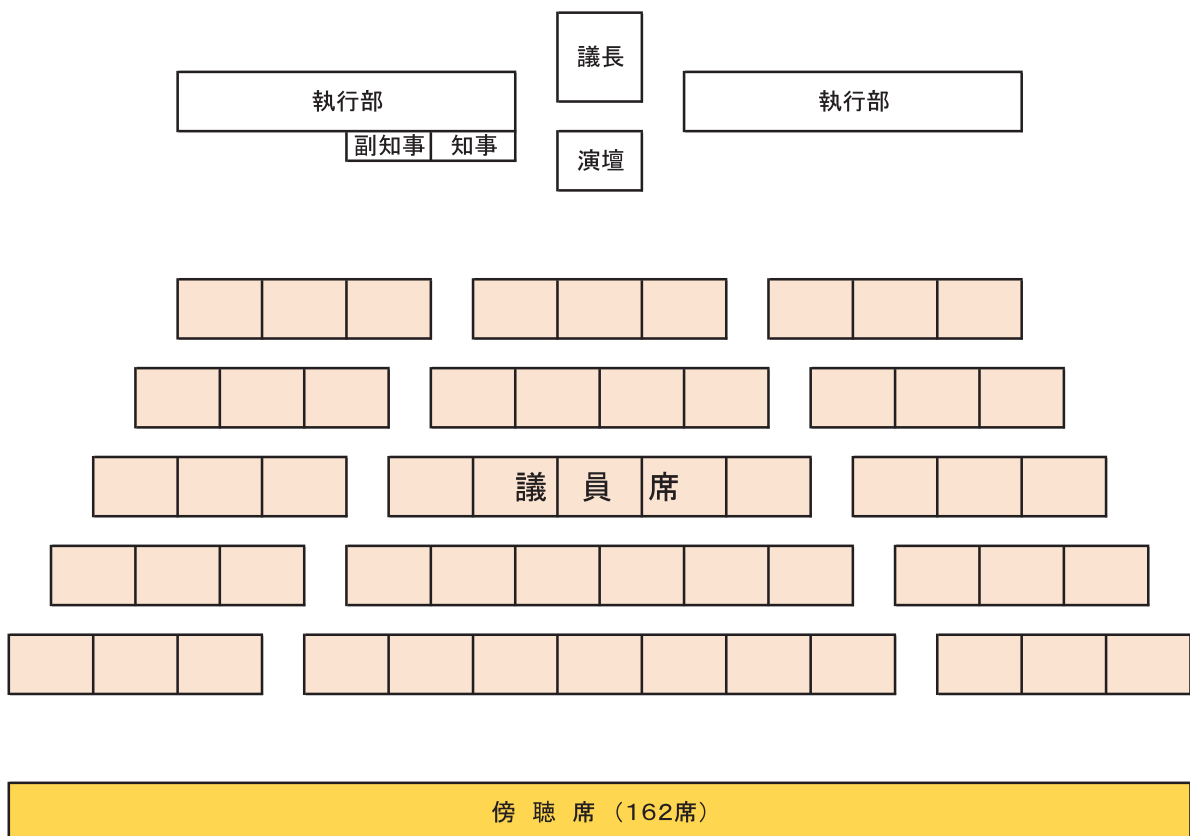
県政放送「元気創出! やまぐち」で議会活動を紹介

県議会では、様々な広報活動を行っています。県政への関心を高め、地域の声を県政に反映していただけたらと考えています。

本会議場の配置



- ① 議長席：ここに議長が座って、会議を進めます。
- ② 演壇：議員が質問したり、知事が説明したりするところです。
- ③ 議員席：県議会議員が座ります。各議員が座る席は決まっています。
- ④ 議会事務局長席：議事進行を補助するため、議会事務局長が座ります。
- ⑤ 執行部席：知事をはじめ、執行部の代表の人が座ります。



議会事務局

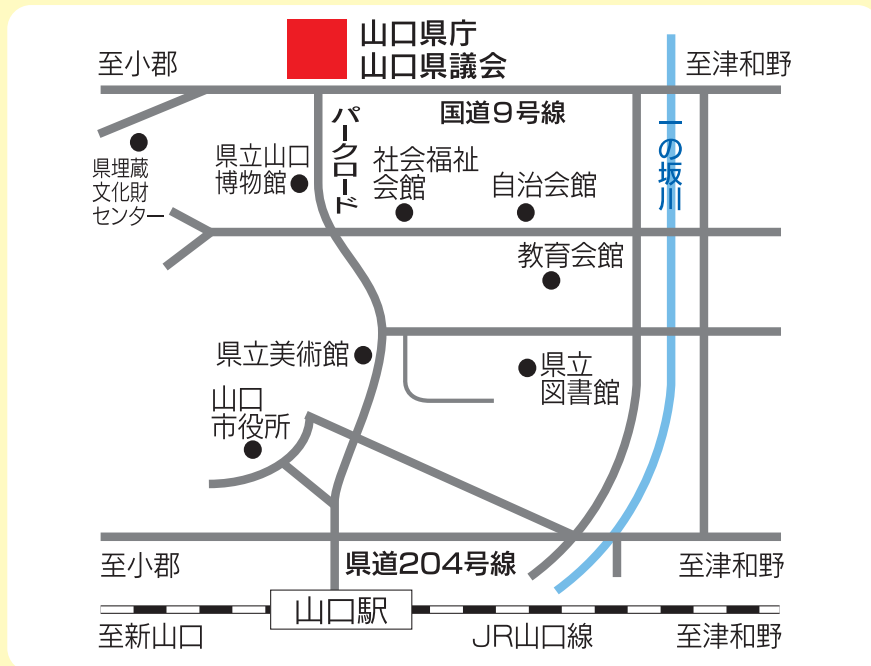
県議会の活動を補助する事務を行うため、議会事務局が設置されています。
本会議や委員会の運営や、議会活動に必要な資料の作成などを行っています。

県議会	局長・次長	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 議員報酬に関する事 ▪ 政務活動費に関する事 ▪ 議会の情報公開に関する事 ▪ 議員の資産公開に関する事 ▪ 庁舎管理に関する事
		議事調査課	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 本会議に関する事 ▪ 委員会に関する事 ▪ 議事の記録に関する事 ▪ 請願、陳情等の処理に関する事
		政務企画室	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 議員の調査研究に関する事 ▪ 議員の提出する議案に関する事 ▪ 議長会、事務局長会議に関する事
		秘書室	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 議長、副議長の秘書に関する事

メモ

山口県議会へのご案内

<アクセスマップ>



<議会棟詳細>

6階	第1・第2特別委員会室 展望ホール
5階	傍聴席
4階	委員会室 記者室 傍聴席
3階	議場 陳情請願室 会議室 議員控室
2階	議長室 副議長室 議会運営委員長室 議会運営委員会室 図書室 議会事務局(総務課 議事調査課 政務企画室 秘書室)
1階	受付 食堂
地下1階	駐車場

お問い合わせ

山口県議会事務局

検索

〒753-8501 山口市滝町1-1 電話 083-933-4110

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a30000/index/index.html>

E-mail: a30000@pref.yamaguchi.lg.jp